

2020年度後期 講義概要

授業科目名	神経系
主担当教員名	野崎和彦
配当学年 等	第3学年
学習目標	基礎医学で習得した神経系知識を駆使し、神経系疾患に関して詳細な問診と効果的な診察により病態把握と病巣特定を行い臨床診断を導く能力、画像を理解する能力、内科および外科治療の方法と目的を理解し、新たな課題を探求する能力を習得する。
授業概要	神経系の解剖、症候、各疾患の概要、診断のプロセス、治療などにつき概説するとともに最新知識にも言及する。自宅学習用の課題は各講義終了時に提示し、Webclassでも掲載する。

授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面)
令和 2年10月28日(水)	4 時限	漆谷 真	神経学総論1	神経機能解剖と症候学 神経診断学の基礎	有	原則対面
令和 2年10月28日(水)	5 時限	渡邊 嘉之	神経放射線学	中枢神経系の画像診断	有	原則対面
令和 2年10月29日(木)	1 時限	野崎 和彦	脳の解剖と病態生理	脳の解剖、意識障害、脳死、脳循環自動調節、頭蓋内圧亢進	有	原則対面
令和 2年10月29日(木)	3 時限	北村 彰浩	認知症	アルツハイマー病、レビー小体病	有	原則対面
令和 2年10月30日(金)	1 時限	伊藤 靖	神経病理学1	脳腫瘍の病理1	有	原則対面
令和 2年10月30日(金)	2 時限	伊藤 靖	神経病理学2	脳腫瘍の病理2	有	原則対面
令和 2年10月30日(金)	3 時限	新田 直樹	機能的疾患	顔面痙攣、三叉神経痛、てんかん・不随意運動など	有	原則対面
令和 2年10月30日(金)	4 時限	金 一暁	神経学総論2	大脳高次機能、機能局在	有	原則対面
令和 2年11月02日(月)	2 時限	中洲 敏	脳腫瘍1	良性腫瘍、髄膜腫、神経鞘腫など	有	原則対面
令和 2年11月02日(月)	3 時限	深見 忠輝	脳腫瘍2	悪性腫瘍、神経膠腫、転移性腫瘍、化学療法など	有	原則対面
令和 2年11月02日(月)	4 時限	地藤 純哉	頭部外傷	頭部外傷急性期、頭部外傷後遺症、慢性硬膜下血腫など	有	原則対面
令和 2年11月02日(月)	5 時限	真田 充	全身疾患の神経学	内科疾患に伴う神経症候群	有	原則対面
令和 2年11月04日(水)	1 時限	櫻井 健世	てんかん	てんかんの病態と診断	有	原則対面
令和 2年11月04日(水)	2 時限	山川 勇	神経感染症	感染性髄膜炎、脳炎の診断、治療	有	原則対面
令和 2年11月04日(水)	3 時限	山川 勇	末梢神経疾患	遺伝性・免疫性・代謝性末梢神経障害の病態と治療	有	原則対面
令和 2年11月04日(水)	4 時限	北村 彰浩	筋疾患、神経筋接合部異常	筋炎、筋ジストロフィー、重症筋無力症	有	原則対面
令和 2年11月04日(水)	5 時限	漆谷 真	神経変性疾患	筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症(MSA含む)	有	原則対面
令和 2年11月05日(木)	1 時限	川合 寛道	錐体外路疾患	パーキンソン病とパーキンソン症候群の診断と治療	有	原則対面
令和 2年11月05日(木)	2 時限	辻 篤司	脳血管障害1	脳卒中の外科	有	原則対面
令和 2年11月05日(木)	3 時限	寺島 智也	臨床遺伝学	遺伝性神経疾患の疫学、診断、倫理	有	原則対面
令和 2年11月05日(木)	4 時限	高木 健治	小児・先天奇形	水頭症、二分脊椎、キアリ奇形など	有	原則対面
令和 2年11月06日(金)	1 時限	中澤 拓也	脳血管障害2	脳血管内治療	有	原則対面
令和 2年11月06日(金)	2 時限	深尾 繁治	脊椎/脊髄疾患	脊椎変性、脊髄腫瘍、脊髄空洞症、脊髄損傷など	有	原則対面
令和 2年11月06日(金)	3 時限	小川 暢弘	脳血管障害3	脳梗塞、脳塞栓症	有	原則対面
令和 2年11月06日(金)	4 時限	真田 充	神経免疫疾患(中枢)	多発性硬化症、視神経脊髄炎、自己免疫性脳炎などの診断と治療	有	原則対面
令和 2年11月11日(水)			試験			対面
令和 2年12月25日(金)			再試験			対面

授業形式・視聴覚機器の利用	原則、可能な限り対面講義とし、事情により、自宅等からのライブ配信やWebClass等を利用した遠隔授業を行う。神経症候や外科手技などで視覚材料が必要な場合はビデオを用いる。不足部分については自宅学習用の課題を提供する。課題に対する成果物の提出は不要である。
評価方法	講義内容に関連した筆記試験(対面)により行う。脳神経内科系、脳神経外科系それぞれ60%以上を原則とし、総合で60%以上を合格とする。両系とも60%未満の場合は不合格とする。評価(5段階)については、定期試験点数及び再試験の合否結果から総合的に評価する。
教科書・参考文献	神田隆：医学生・研修医のための神経内科学(中外医学社)/病気がみえるVol.7 脳・神経系(出版社：メディックメディア)/田崎義昭 他：ベッドサイドの神経の診かた(南山堂)/水野美邦：神経内科ハンドブック-鑑別診断と治療-(医学書院)/標準脳神経外科学(医学書院)/太田富雄：脳神経外科学(金芳堂)/松谷雅生、田村晃：脳神経外科周術期管理のすべて(メジカルビュー)
学生へのメッセージ	神経系の正常構造と各種疾患病態を理解し、最新の知識に触れることで、「ヒト」の本質である中枢神経の面白さと深遠さに触れていただきたい。